

関係各位

IGF Japan 第2回全体会議 開催報告  
(APrIGF 2012 Tokyo)

お陰様をもちまして、ご協力により、第2回のIGF Japan全体会議を無事成功裏に終えることができました。簡単ですが、以下開催の報告をさせていただきます。

社団法人日本インターネットプロバイダー協会

—記—

1. 開催概要

開催日：2012年7月19日（木）14:30～16:00

場所：青山学院 青山キャンパス 17号館 17606教室

〒150-8366 東京都渋谷区渋谷 4-4-25

J R 山手線、東急線、京王井の頭線「渋谷駅」宮益坂方面の出口より徒歩約10分

地下鉄「表参道駅」B1出口より徒歩約5分

<http://www.aoyamagakuin.jp/access/accessmap.html>

主 催：社団法人日本インターネットプロバイダー協会

後 援：総務省

参加費：無料

参加者：世界各国から約200名（17606教室は45名）

2. 概要のご報告

今や社会的インフラと言われるまでに普及してきたインターネット。様々な場面で我々の生活を便利にしてくれる一方で課題も山積みになっております。

これらの諸問題にグローバルな観点から対応するために2003年と2005年に行われた国連のWSIS(世界情報社会サミット)の活動を引き継ぎ、様々な分野、国、地域においてインターネットの管理に関する会議が行われてきております。その中でも、2006年以降はIGF(Internet Governance Forum)という形で国連がグローバルな会議を主催し、その会議と連携して国ごと、地域ごとに世界中で議論が進んでいます。

日本においても2010年10月にアジア太平洋地域で始まったIGFの活動と連携するように「IGF Japan」が設立されました。その後も国内の様々な団体や会合において、技術的なインターネットアクセスの問題、法的な課題、制度的な課題や国際的な問題等について活発なディスカッションが行われています。昨年7月には、パネルディスカッションを中心としたプレゼンテーションに加え、会場の参加者と議論をする場として「第1回全体会議」を開催しております。IGF Japanとしては本年は7月18日～20日にかけて行われた「APrIGF 2012 Tokyo」の事務局としてアジア太平洋地域におけるIGFの活動

に寄与することを主眼としておりましたので、第2回全体会議はその日程の中で開催いたしました。今回は、中でも注目されているクラウドサービスのセキュリティを始め、クラウドの運用面を中心としたディスカッションを行いました。クラウドを提供する上で、セキュリティの担保をしながら業務を運用しなくてはならない。安全性を高めながらの運用の難しさ。個別の事例に従って個々の事業者のプレゼンを参考にしながら、パネラー、会場との活発なディスカッションとなりました。

### 3. プログラム内容

「クラウドが当たり前の時代、備えるべきリスクとは何か？」

概要：クラウドは今日、インターネットにおけるサービスの代名詞として一般的にも高く認知され、様々なサービスが提供され、活用が広がっています。

クラウドサービスの本質であるお互いが連携された環境は、誰もが意識をしておいなくてもクラウドサービスを利用できると同時に、自身の利用しているクラウドサービスのインフラがどのように守られているのかについて理解を深めていく必要があります。保存されているデータそのもののセキュリティーの確保やセキュリティ対策を含めた安定した運用に向けてクラウドが抱える課題、備えるべきリスク管理について、サービス提供側とユーザ側の視点から活発な議論がされました。また、今後の発展に向けた課題を洗い出し、その解決策についても議論が深まりました。

モデレータ：シスコシステムズ合同会社 木下剛氏

パネラー：NEC ビッグロブ株式会社 基盤システム本部長代理 遠藤由妃夫氏

さくらインターネット株式会社 代表取締役社長 田中邦裕氏

ニフティ株式会社 クラウド事業部クラウドビジネス部 部長 上野 貴也氏

株式会社インフォセック

コンサルティング本部長 (兼)ソリューション副本部長 樋口 健氏



#### 4. 収支報告書

IGF Japan 第2回全体会議

収支計算書(2012年7月19日)

収入		小計	金額
前回繰越金より繰り入れ			563,437
支出			
会議費・打ち合わせ等		49,170	
名札・ストラップ等備品		179,760	
雑費		0	
	支出合計		228,930
	差引次回繰越額		334,507